

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所「にんぐる」		
○保護者評価実施期間	令和8年2月28日		～ 令和8年3月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和8年2月28日		～ 令和8年3月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・北見市に児童発達支援事業所が少ない為、利用したいのにできない人たちの受け皿になる事ができる。	・未就学児を多く利用されている、相談支援事業所と連絡を取り合い、困っている人がいないか確認を取っている。	
2	・北見市では祝日に開いている事業所が少ないため、利用を希望しても利用できない方々の受け皿となることができる。	・祝日が利用しやすいように、利用したい時間帯を保護者の方から確認しそれに出来るだけ沿った形での利用を可能としている。	
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援に必要な情報の理解に個人差があり、対応にばらつきが出ている。	・会議や支援前の情報共有が不足しており、職員間で共通認識を持つ機会が少ないため。	・情報共有の機会の増加に加え、支援マニュアルの整備、OJTの実施等により、職員間の理解のばらつきを防ぎ、支援の質の統一を図る。 ・支援方法に関するスキルアップの機会を設けるため、外部研修や内部研修への参加を積極的に促す。
2			
3			